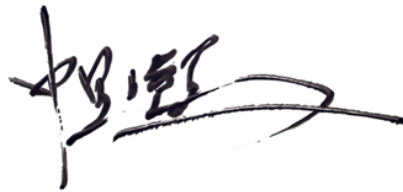


YUIMA NAKAZATO

YUIMA NAKAZATO が火の鳥の持つ力強さと美しさ、
そして命の尊さと調和を新コレクション「COSMOS」で表現

“古来より世界中で語り継がれてきた伝説の生き物、火の鳥。
その中でも、手塚治虫が描くそれは、光り輝きながら時空を越えて飛び回り、
人間の強さと愚かさ、そして生命の尊さを我々に諭していきます。
火の鳥が、この時代の美しさとは何かを、私に教えてくれたように思います。”



YUIMA NAKAZATO は 2020 年 1 月 23 日、2020 春夏クチュールコレクションを、パリ・オートクチュール・ファッション・ウィークにて発表しました。

「やがて衣服は 1 点物しか存在しなくなるでしょう」そんな未来像を描く YUIMA NAKAZATO は、一人一人の個性に調和する次世代のテーラードガーマントを創るため、これまで一貫してユニットシステム「TYPE-1」^[1]を軸に、自由に姿・形を変化させ得る衣服を目指した様々な開発を続けてきました。

そして、公式ゲストデザイナーとして 7 度目を迎えた本コレクションでは、前回コレクションで新素材を用いて生み出した「Biosmocking (バイオスマッキング)」^[2]という技術がさらに進化。YUIMA NAKAZATO のために特別に設計されたテキスタイルを持つ“超収縮”という特徴を、デジタルファブリケーションによりコントロールし、表面のテクスチャーを作り出すという前回発表した技巧だけでなく、生地全体の立体造形を自由に変容させるという新たな取り組みも実現させました。この、まさに衣服を分子レベル、生地レベルからプログラミングするような技術により、生地を裁断、縫製せずとも着る人の体型に合わせたサイジング、そして好みに合わせた装飾などを無限に作り出すことが可能となり、百人百様の個性、多様性に調和した 1 点物の服を提供するという大きなビジョンに向けて、また一つ前進しました。

また本コレクションでは、バイオスマッキングのベースとなっている構造タンパク質素材「Brewed Protein™(ブリュード・プロテイン™)」^[3]を全ルックの衣服だけでなく、アクセサリーや靴といった多彩なアイテムへも活用したほか、可能な限り無駄を出さない生産方法、破棄される素材をアップサイクルさせるなど、様々な観点からサステナビリティを追求しています。

個と環境の両面への尊重、その上に成り立つ両者の調和。着物のように長方形の反物の布をそのまま使用することと洋服のテーラー技術のように着る人の体に合わせてフィットさせることを同時に可能にする、まるで東西文化の融合であるかのような新たなパターンメイキングへのアプローチ。伝統的なクラフトマンシップから最先端のバイオテクノロジー、デジタルファブリケーションまでを一つに繋げたプロダクション。それら全ての唯一無二とも言えるチャレンジをもって、未来の衣服の在り方、そこに架ける思いを体現しました。

YUIMA NAKAZATO

④ TYPE-1

YUIMA NAKAZATO が開発する衣服のプロダクションシステム。針と糸を使わずに、衣服の形やサイズを短時間でカスタマイズでき、素材の変更、修繕、そして成長などの身体の変化にも対応する。布と布を繋ぎ合わせるための特殊なビス（attachment unit）は、環境に配慮した 99% 植物由来の樹脂や金属を使用。

⑤ バイオスマッキング（Biosmocking）

YUIMA NAKAZATO のために特別に設計されたブリュード・プロテイン™ テキスタイルの超収縮（形状変容）する特徴を、デジタルファブリケーションにより精密にコントロールすることで、生地表面に 3 次元のテクスチャーを作り出すことができるテキスタイル技術。研究を重ねた結果、本コレクションでは収縮をコントロールする技術の精度が飛躍的に向上し、表面のテクスチャーを作り出すだけでなく、生地自体を自由に変容させることができるまでに進化した。生地に印刷された無数の長方形一つ一つに、「体に沿わせる」「体から離れる」など様々な指示がプログラムされており、その指示通りに生地が反応、自己組織化することで、衣服の立体造形が生まれ出される。

⑥ ブリュード・プロテイン™（Brewed Protein™）

新素材を開発する企業、Spiber が生み出したサステイナブルなプロテインマテリアル。独自のテクノロジーによりアプリケーションごとにテーラリングされたブリュード・プロテイン™ はブリューイング（微生物による発酵）によりつくられるため、原料を石油や動物に頼らないサステイナブルでエシカルな新素材として、アパレル、輸送機器、建築資材、人工毛髪、医療機器など、様々な分野での展開が期待されている。

PROFILE

YUIMANAKAZATO

2011 年、東京で初めてのコレクションを発表。2016-2017 年秋冬シーズンからは、パリ・オートクチュールでコレクションを発表している。「やがて衣服は 1 点物しか存在しなくなるでしょう」これは、YUIMA NAKAZATO が想像する人類の未来の姿である。クラフトマンシップとテクノロジーが調和した革新的な服づくりにより、一人一人の個性に合わせた衣服を、より多くの人に届けることを目指している。

中里 唯馬

中里唯馬は、1985 年生まれ。2008 年、ベルギー・アントワープ王立芸術アカデミーを日本人最年少で卒業。2015 年に「株式会社 YUIMA NAKAZATO」を設立。2016 年 7 月には日本人として史上 2 人目、森英恵氏以来となるパリ・オートクチュール・ファッションウィーク公式ゲストデザイナーの 1 人に選ばれ、コレクションを発表。その後も継続的にパリでコレクションを発表し、テクノロジーとクラフトマンシップを融合させたものづくりを提案している。

INFORMATION

本リリースに関する報道関係者様 お問い合わせ先

YUIMA NAKAZATO PR
info@yuimanakazato.com